

スムーズビズの取組事例・効果

《テレワークや時差出勤などを進め働く環境づくり》

企業や働く人にもメリットあり！

満員電車に乗らずにすんでストレスが減った

通勤時間が短縮できてよかった

業務に集中できて生産性が向上した

介護と業務の両立が可能となった

家事や育児にあてる時間が増えた

企業のブランドイメージが向上した

《物流の効率化の工夫》

こんな取組始まっています！

宅配ボックス・コンビニなど受取場所拡大により再配達を減少

同一車両により複数現場へ一括配送

「翌々日納品」でリードタイムを生み出し、物流を効率化

大会前に店舗へ在庫を多めに搬入しておくよう調整

店舗や社屋等での設備点検について大会前の実施を計画

内陸にコンテナのターミナルを設け臨港部での空コンテナの輸送を削減

大会期間中の交通混雑緩和に向けて 都庁も取り組んでいます！

- ▶本庁舎職員の約半数(5,000人程度)が時差出勤・テレワーク等を実施
- ▶本庁・事業所全てで庁有車の利用を控え、必要な場合も高速道路等は避ける
- ▶大会前に備品等をまとめて納品し、本庁・事業所含む約900か所への納品ゼロ
- ▶会議資料の電子化、ゴミ搬出前・後倒しによるゴミ総量約40%減を目指す等

東京2020大会時の交通混雑緩和と、そこから始まる
新たなワークスタイルや企業活動の東京モデルを目指して！

スムーズBiz 参加企業募集中！



▶スムーズBizに関する問い合わせ先

〈問い合わせ先〉都市整備局 都市基盤部 調整課
TEL: 03-5388-3317

スムーズBiz



<https://smooth-biz.tokyo/>

▶2020TDM推進プロジェクト

東京2020大会における円滑な大会運営／輸送の実現と、
経済活動の維持との両立を図るため、交通需要を抑制する取組です。
プロジェクトに登録すれば、大会時の交通情報がメールマガジン等にいち早く入手できます。
※登録による費用や義務等は一切発生いたしません。

〈問い合わせ先〉2020TDM推進プロジェクト運営事務局

Mail: info@2020tdm.tokyo
TEL: 0120-108-030
10:00~12:00, 13:00~17:00 (土・日・祝日、年末年始を除く)

2020tdm



<https://2020tdm.tokyo/>



(2020TDM シンボルマーク)
※プロジェクト登録により
ダウンロードできます。

▶時差Biz

満員電車の混雑緩和は、社会の生産性向上のための重要な課題の1つです。都では、通勤時間を
ずらすことによって満員電車の混雑緩和と働き方改革を促進する「時差Biz」に取り組んでいます。

〈問い合わせ先〉時差Biz 運営事務局

Mail: jisa-biz@access-t.co.jp
TEL: 03-3479-0254 平日 9:30~18:30

時差Biz



<https://jisa-biz.tokyo/>



▶テレワーク

ICT(インターネットやパソコン・スマートフォン等)を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方。

〈問い合わせ先〉東京テレワーク推進センター

TEL: 03-3868-0708
平日 9:00~17:00 (祝日・年末年始を除く)

東京テレワーク推進



<https://tokyo-telework.jp/>

東京テレワーク推進センター
TOKYO TELEWORK PROMOTION CENTER

住んでいる人も、訪れる人も、
より快適な東京へ

スムーズBiz

Smooth Biz

テレワーク



都心の混雑を避けて
自宅などで仕事の
効率アップ

時差Biz



ピーク時間を避けて
気持ちよく出退勤

2020TDM

交通需要マネジメント



東京2020大会期間中
計画的な移動で
混雑を緩和

3つの取組で、新しい働き方の東京モデル

 東京都

2020年、そしてその先へ。

TOKYOの働き方を変える「スムーズBiz」

東京2020オリンピック・パラリンピック大会期間中、延べ1,000万人以上*のお客様をお迎え致します。それにともない、東京の道路や鉄道が混雑し私たちの生活や企業活動への影響が懸念されます。私たちが普段どおりに生活し、働くには、テレワークや時差通勤、物流の迂回・時間変更・集約など、一人一人の「スムーズBiz」への参加、協力が必要となります。世界中からのお客様を気持ちよくお迎えし、東京2020大会を成功させること、そして、その後も「スムーズBiz」の取組を続けることで、私たちがいきいきと生活し、働き、活躍できる社会が待っています。

東京都では、東京2020大会に向けて推進している「2020TDM 推進プロジェクト(交通需要マネジメント)」と、「時差 Biz」、「テレワーク」等の取組を一体的に進め、新しいワークスタイルや企業活動の東京モデルを構築し、新しい働き方を東京から発信していきます。

東京を訪れる世界中の人々と、ここに暮らしている私たちが気持ちよくいるために、はじめよう、スムーズBiz。

※東京都の人口は平成31年4月現在約1,390万人

「スムーズBiz」は働く人にも企業にもメリットがあります!

メリット
1

東京2020大会時も円滑な企業活動を継続



東京2020大会の期間中、選手や関係者などの来訪により交通混雑が見込まれます。荷主も含めた配送の工夫、アクションプラン作成などの事前準備が円滑な企業活動の継続につながります。

メリット
2

働き方改革と合わせて従業員の働く意欲向上



テレワークや時差出勤の活用で満員電車や渋滞のストレスが少なくなります。通勤にあてていた朝夕の時間を趣味や家族との時間に使ったり、子育てや介護と仕事が両立しやすくなります。また、企業の人材採用や人材の確保にもつながります。

メリット
3

業務や物流の効率化により生産性向上



配送や集配の時間・ルートを変更したり、再配達回数の削減、積載効率のアップ(共同化や帰り荷の確保)などにより、効率的な働き方や配送等が実現し、物流コストのダウンや企業の生産性向上にもつながります。

スムーズBiz取組スケジュール

STEP 1 東京2020大会1年前～大会直前まで

PLAN まずは大会時に社内で何が出来るか検討

- 〈働く環境の検討〉
- ▶ 休暇取得、テレワーク、時差出勤、フレックス
 - ▶ 会議、イベントの時期変更 など
- 〈物流の検討〉
- ▶ 事前、事後の配送・納品 ▶ 配送、集配時間・ルートの変更
 - ▶ 積載効率のアップ など
- 社内の取組をとりまとめ、アクションプラン(行動計画)を作成

DO 大会に向けてできることからLet's TRY!

作成したアクションプランを踏まえ
スムーズBiz推進期間《2019年7/22(月)～9/6(金)》や
東京2020大会のテストイベントと併せて行うと効果的!

CHECK 試行結果の検証

- 〈チェック項目の例〉
- ▶ 各部門での実績
 - ▶ 社内業務に支障が出た場合の要因
 - ▶ 関連会社との連携に支障が出た場合の要因
 - ▶ 事前の納品物などの数量・時期は適正だったか

ACTION 取組内容の改善をアクションプランに反映

- ▶ 社内の取組を拡大 ▶ 取引先等との話し合い
- ▶ 社内の各部門との調整 ▶ システムの改善 など

※1スムーズBiz推進期間のうち皆様の取組のピークをあわせるチャレンジウィークを設定しました。
〈チャレンジウィーク〉▶ 2019年7月22日(月)～7月26日(金)
ぜひこの機会と一緒に取り組んでみませんか。

▶2019年カレンダー

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
7/14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
9/1	2	3	4	5	6	7

■ チャレンジウィーク(7/22～26)
■ 集中取組期間①(7/22～8/2)
■ 集中取組期間②(8/19～8/30)

STEP 2 東京2020大会期間中

アクションプランを東京2020大会開催期間中に実施

2020年

7 July

8 August

9 September

7/24

8/9

8/25

9/6

オリンピック開催期間

パラリンピック開催期間

実行する前に…

- ▶ 交通規制の時間・場所をチェック
- ▶ 各競技時間に変更がないかチェック
- ▶ 最終的な混雑予測マップをチェック

STEP 3 2020年9月以降

東京2020大会以降も続けて取り組もう!

大会中の取組を
継続して生産性UP!

TOKYOの
新しい働き方として
定着へ

東京2020大会のレガシーへ!